



企業局マスコットキャラクター「あらぞうくん」

水道事業会計の財政状況をお知らせします

業務の状況

主な建設改良工事		主な実績 単位：立方メートル	
野原地区配水管布設工事	1,900 万円	1日最大配水量	15,862
四ツ山地区配水管布設工事	7,625 万円	1日平均配水量	15,489
荒尾地区配水管布設工事	1,892 万円	1日平均有収水量	14,066

契約給水戸数・給水人口

区分	年度	25 年度	26 年度	27 年度
給水戸数		20,861 戸	22,376 戸	23,091 戸
給水人口		49,232 人	53,050 人	51,939 人

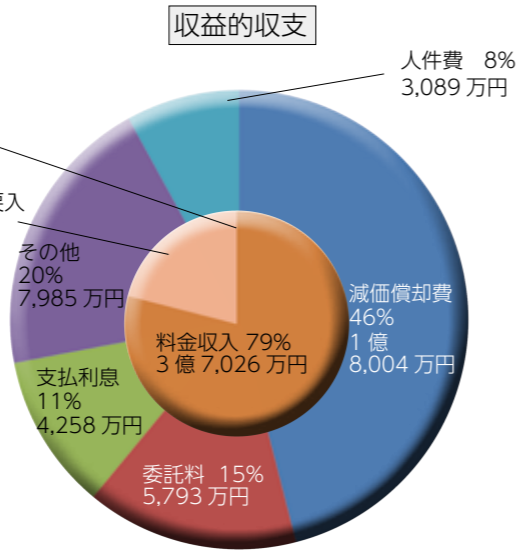
有収水量・配水量

区分	年度	25 年度	26 年度	27 年度
有収水量		252	257	257
配水量		284	285	283

有収水量…家庭や事業所に取り付けられている水道メーターで量った実際に使用された水量
配水量…配水池から市内へ送り出された水量

資本的収支

収入	29 万円
企業債	0 万円
工事負担金	29 万円
他会計負担金	0 万円
国庫補助金	0 万円
支出	1 億 1,619 万円
建設改良費	1,059 万円
企業債償還金	1 億 560 万円
収支差額	△ 1 億 1,590 万円



収支差額 7,674 万円

※小数点以下を四捨五入しているため、割合は全て足しても 100% になりません。

平成 27 年度上半期業務状況

平成 27 年 4 月 1 日～9 月 30 日

下水道事業会計の財政状況をお知らせします

業務の状況

主な建設改良工事		主な実績 単位：立方メートル	
有明地区汚水枝線管渠布設工事	4,082 万円	1日最大処理水量	14,610
緑ヶ丘地区汚水枝線管渠布設工事	3,672 万円	1日平均処理水量	13,506
中央地区汚水枝線管渠布設工事など	1,507 万円	1日平均有収水量	11,252

契約水洗化戸数・水洗化人口

区分	年度	25 年度	26 年度	27 年度
水洗化戸数		14,693 戸	14,801 戸	15,090 戸
水洗化人口		33,266 人	33,475 人	33,803 人

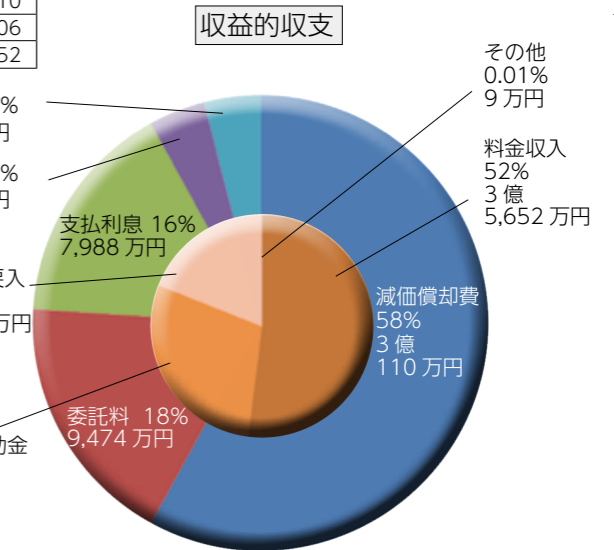
有収水量・配水量

区分	年度	25 年度	26 年度	27 年度
有収水量		220	195	206
排水量		231	213	247

有収水量…処理した汚水のうち使用料徴収の対象となる水量
排水量…各家庭や事業所から下水道へ排出された水量

資本的収支

収入	2,516 万円
企業債	480 万円
国庫補助金	528 万円
他会計負担金	0 万円
受益者負担金	1,508 万円
支出	2 億 9,221 万円
建設改良費	1,480 万円
企業債償還金	2 億 7,741 万円
収支差額	△ 2 億 6,705 万円



収支差額 1 億 7,397 万円

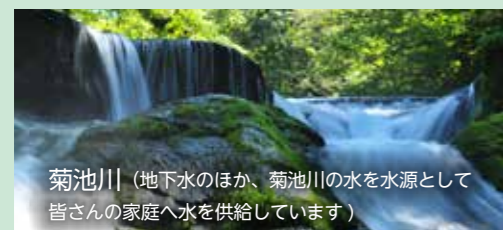
平成 27 年度上半期業務状況

平成 27 年 4 月 1 日～9 月 30 日

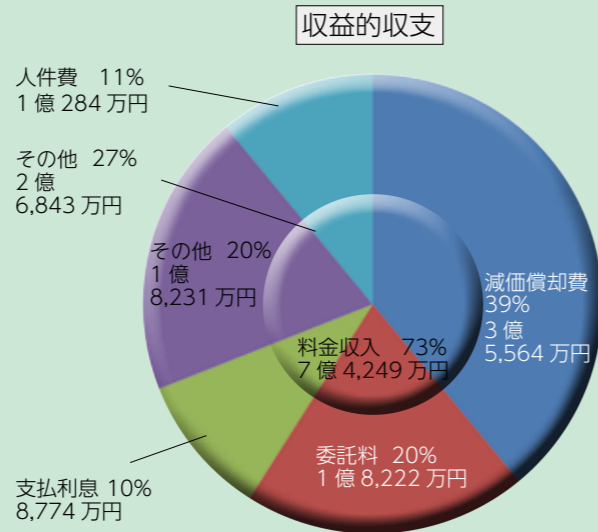
平成 26 年度決算の概要

収益的収支は単年度収支で 1 億 17 万円の純利益となりました。水道一元化により、水道事業収益の主体である給水収益は増加しましたが、長期的には人口減による減少が予測されます。

今後もさらに効率性を高め、経営基盤を強化し、市民の皆さんに安全で安定した供給サービスを持続的に提供できるよう努めていきます。



菊池川（地下水のほか、菊池川の水を水源として皆さんの家庭へ水を供給しています）



収支差額 1 億 17 万円

資本的収支

収入	3 億 1,570 万円
企業債	5,200 万円
工事負担金	1,386 万円
他会計負担金	491 万円
補助金など	2 億 4,493 万円
支出	5 億 282 万円
建設改良費	2 億 9,607 万円
企業債償還金	2 億 675 万円
収支差額	△ 1 億 8,712 万円

貸借対照表

固定資産	102 億 1,344 万円	負債	75 億 6,728 万円
		固定負債	41 億 5,933 万円
		流動負債	3 億 4,338 万円
		繰延収益	30 億 6,457 万円
流動資産	7 億 6,458 万円	資本	34 億 1,074 万円
		資本金	26 億 1,847 万円
		剰余金	7 億 9,227 万円
資産合計	109 億 7,802 万円	負債・資本合計	109 億 7,802 万円

平成 26 年度

決算

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

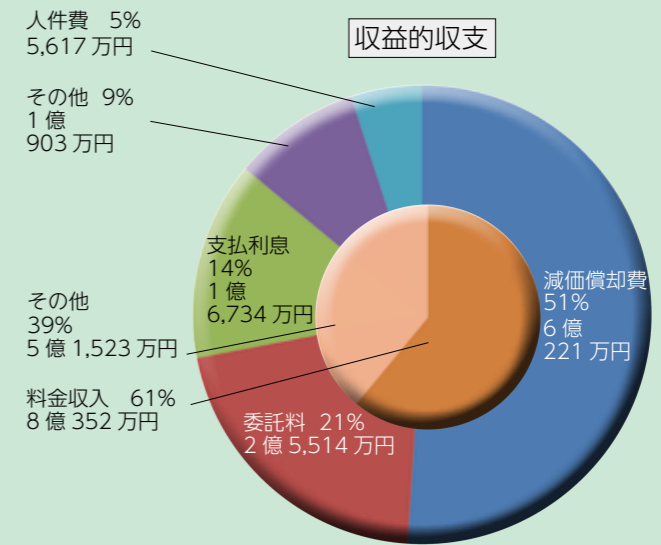
平成 26 年度決算の概要

収益的収支は単年度収支で 1 億 2,886 万円の純利益となりました。水道事業と同じく、収益の主体である下水道使用料収入も人口減による長期的な減少が予測されます。

今後は、さらなる市民の利便性の向上や効率的な事業運営を図り、施設の効率的な維持管理によるコスト削減、収納率の向上による下水道使用料収入の確保に努め、長中期的展望に立って経営基盤の強化を行っていきます。



大島浄水センター



収支差額 1 億 2,886 万円

資本的収支

収入	4 億 6,841 万円
企業債	2 億 7,790 万円
補助金	1 億 6,980 万円
受益者負担金	2,071 万円
支出	9 億 977 万円
建設改良費	3 億 5,445 万円
企業債償還金	5 億 5,532 万円
収支差額	△ 4 億 4,136 万円

貸借対照表

固定資産	152 億 5,796 万円	負債	145 億 7,359 万円
		固定負債	76 億 8,508 万円
		流動負債	6 億 2,333 万円
		繰延収益	62 億 6,518 万円
流動資産	2 億 9,379 万円	資本	9 億 7,816 万円
		資本金	6 億 4,932 万円
		剰余金	3 億 2,884 万円
資産合計	155 億 5,175 万円	負債・資本合計	155 億 5,175 万円

平成 26 年度

決算

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日